

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー


















南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		9/8 (9/1との比較)	9/8 (9/1との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
カナダ 	AAA	1.98% (+0.07)	88.69円 (▲0.30%)	+3.7% 2017年2Q	1.00%	中銀は市場予想に反して利上げを実施。雇用統計では全体は増加したものの、正規雇用が減少し、非正規雇用が増加。国債利回りは上昇。カナダドルは対円で下落。	住宅着工件数などの発表を予定。利上げを受けて、為替市場はしばらくは底堅い展開を予想。北朝鮮などを巡る地政学リスクなどの動向にも注目。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		
ブラジル 	BB	8.68% (▲0.27)	34.94円 (▲0.49%)	+0.3% 2017年2Q	8.25%	インフレ統計は伸びが鈍化。通貨政策委員会では政策金利が1.0%引き下げられ、8.25%に。声明文では今後の利下げ幅の縮小を示唆。国債利回りは低下。レアルは対米ドルで上昇、対円で下落。	小売売上高などの発表を予定。家計の消費動向に注目。債券市場は中銀の緩和的な政策スタンスなどから堅調に推移すると見込むも、為替市場は政治的不透明感の残存などから上値の重い展開を予想。
	Ba2	 金利低下		 景気回復	 利下げ局面		
メキシコ 	A	6.65% (▲0.14)	6.09円 (▲1.60%)	+1.8% 2017年2Q	7.00%	消費者物価指数（CPI）は市場予想を下回る結果。NAFTA（北米自由貿易協定）再交渉難航やメキシコ南部での地震の発生などにより、ペソは対円で下落、対米ドルで上昇。国債利回りは低下。	鉱工業生産などの発表を予定。市場予想では対前年比でマイナス推移の継続を見込む。NAFTA再交渉や、中銀の金融政策の動向をにらみつつ、債券・為替市場ともに神経質な展開を予想。
	A3	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。
















※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		9/8 （9/1との比較）	9/8 （9/1との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	2.58% （▲0.08）	86.87円 （▲1.20%）	+1.8% 2017年2Q	1.50%	中銀は市場予想通り政策金利の据え置きを決定。経常収支やGDP（国内総生産）、小売売上高など主要な指標が市場予想を下回り、オーストラリアドルは対円で下落。国債利回りは低下。	企業景況感や企業信頼感、雇用統計などの発表を予定。中国の鉱工業生産などの指標や北朝鮮を巡る地政学リスクに注目しつつも、債券・為替市場はレンジ内の推移を予想。
	Aaa	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	2.76% （▲0.10）	78.30円 （▲0.74%）	+2.5% 2017年1Q	1.75%	製造業活動指数が上昇する一方、全建物実質価値は減少し、乳製品入札の落札価格も下落するなど、経済指標はまちまちの動き。先進国の金融市場動向の影響を受け、ニュージーランドドルは対円で下落。国債利回りは低下。	23日に行われる総選挙の不透明感が残る中、経済成長率が鈍る兆しも見られるため、通貨は上昇しにくい環境。住宅関連統計、消費者信頼感指数、製造業PMIなどに持ち直しの動きが見られるかが注目される。
	Aaa	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.47% （▲0.08）	13.93円 （▲1.40%）	+0.2% 2017年2Q	0.50%	住宅価格は減速傾向が継続。一方、鉱工業生産は拡大。原油価格は底堅く推移したものの、国会選挙を控え、ノルウェークローネは対円で下落、国債利回りは低下。	地域別調査やCPIなどの発表を予定。11日に行われる国会議員選挙では、中道右派と中道左派の支持率が拮抗。結果は現地12日朝には判明する見込みも、連立交渉を経て国会勢力の状況が固まるには1～2週間かかる見込み。
	Aaa	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
 ※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
 ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
 ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
 ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
 ※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
 ※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		9/8 (9/1との比較)	9/8 (9/1との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
南アフリカ 	BBB-	7.30% (▲0.06)	8.33円 (▲2.20%)	+1.1% 2017年2Q	6.75%	4-6月期のGDP（国内総生産）は市場予想を上回ったものの、製造業生産は前年比でマイナス成長。企業景況感も低下する中、ランドは対円で下落、対米ドルではほぼ横ばい。国債利回りは低下。	小売売上高や経常収支などの発表を予定。米大手格付機関は同国政府が計画する経済改革のリスクを指摘。依然として不安定な国内情勢から、債券・為替市場は不安定な展開を予想。
	Baa3	 金利上昇		 景気鈍化	 据え置き局面		
インドネシア 	BBB-	6.07% (▲0.21)	0.82円 (▲0.85%)	+5.0% 2017年2Q	4.50%	製造業PMIは前月から上昇し、50を上回る水準。一方、CPIおよびコアCPIの前年比伸び率が鈍化したことなどを背景に、国債利回りは低下。市場の円高傾向を受けて、ルピアは対円で下落。	貿易統計などの発表を予定。インフレの伸び率が鈍化する中、中銀による追加金融緩和への期待がさらに高まり、国債利回りは低下しやすい地合いを予想。ルピアは安定的に推移する見込み。
	Baa3	 金利横ばい		 景気拡大	 据え置き局面		
インド 	BBB-	6.51% (+0.03)	1.69円 (▲1.86%)	+5.7% 2017年2Q	6.00%	サービス業PMIは前月より改善。一方、北朝鮮を巡る地政学リスクの高まりを受けて、市場全般の円高によりルピーは対円で下落。国債利回りは小幅上昇。	貿易統計やCPI、鉱工業生産などの発表を予定。一部のさえない経済指標は進捗する国内改革の影響とみられ、安定した国内情勢から債券・為替市場は底堅い推移を予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気回復	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

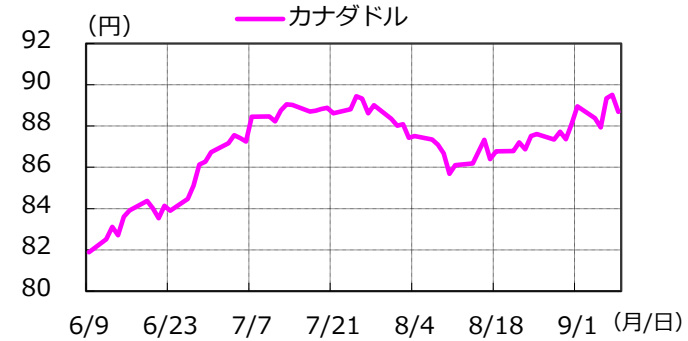
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

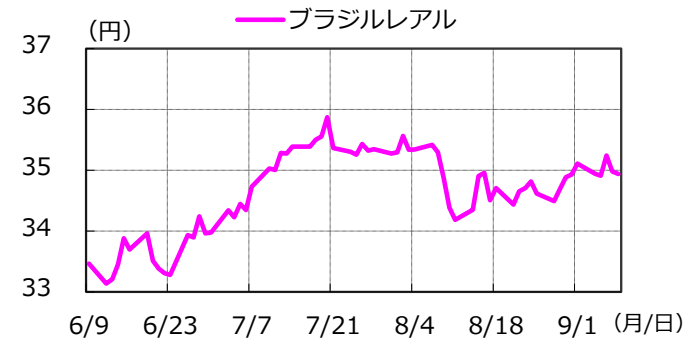
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/6/9～2017/9/8

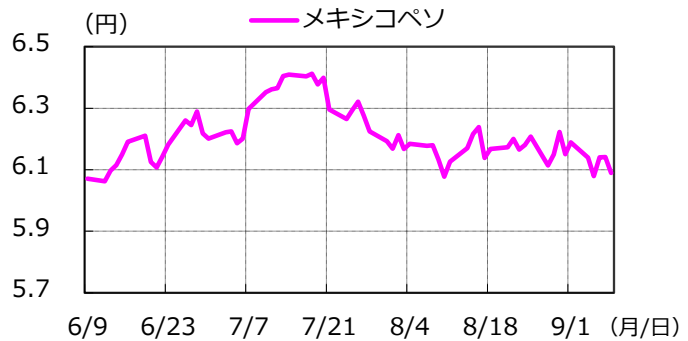
カナダ



ブラジル



メキシコ

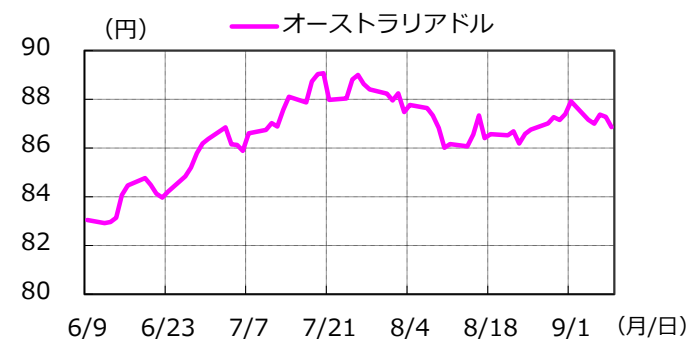


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

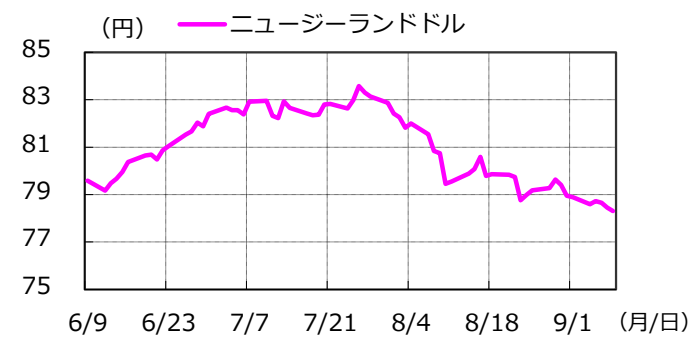
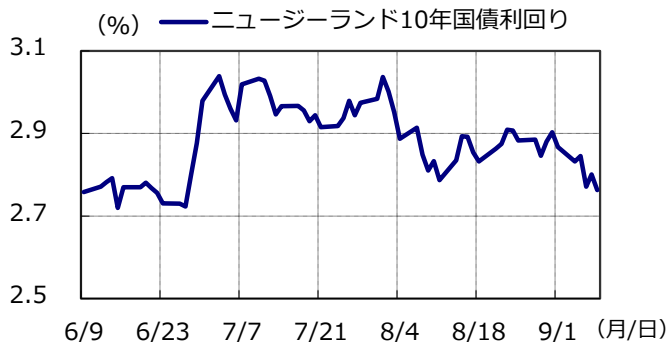
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/6/9～2017/9/8

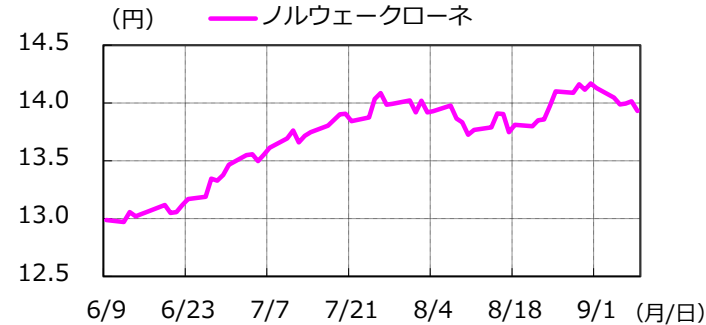
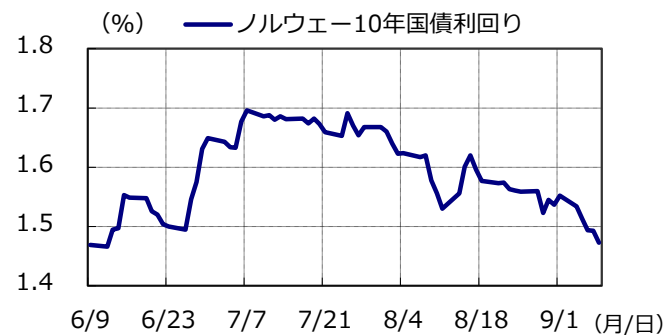
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

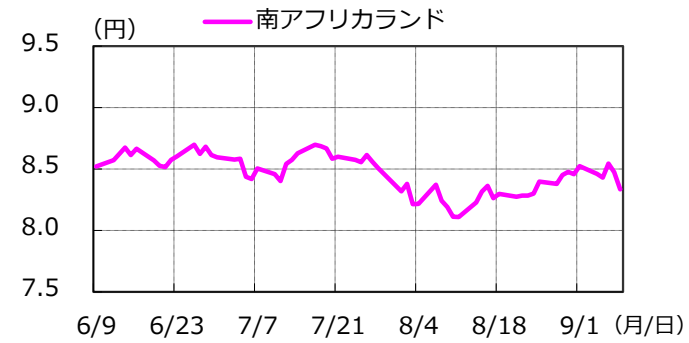


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

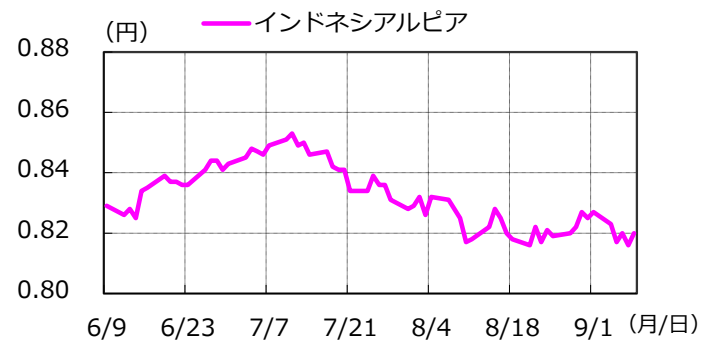
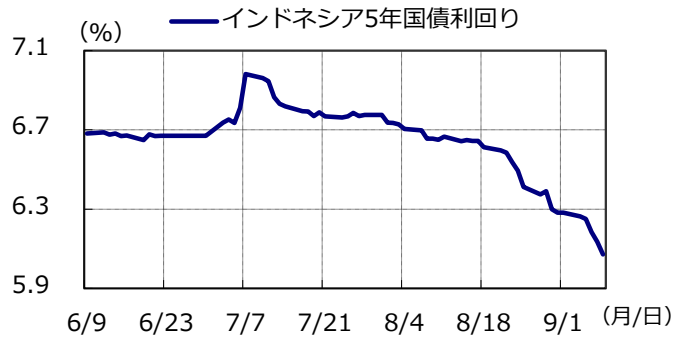
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/6/9～2017/9/8

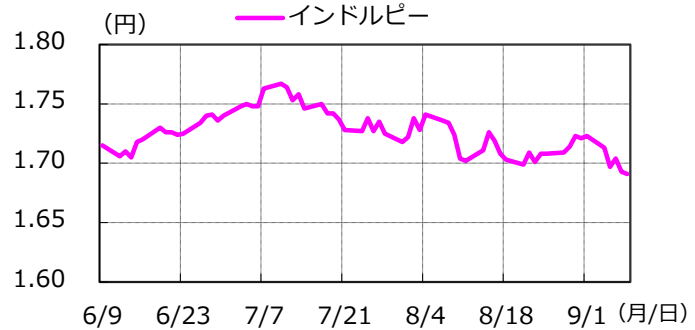
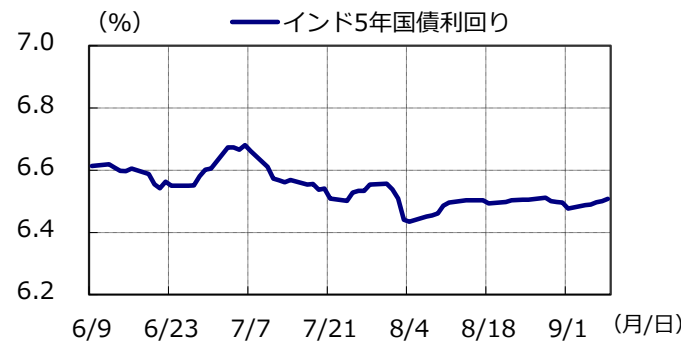
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。